

## 第7回

# 定時株主総会 招集ご通知

開催日時 2020年8月28日（金曜日）  
午前10時（受付開始 午前9時）

開催場所 東京都千代田区平河町二丁目4番1号  
都市センターホテル  
(日本都市センター会館内)  
3階 コスマスホール

昨年と会場が異なりますので、  
お間違えのないようご注意ください。

### 株主の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大防止及び株主の皆様の安全確保のため、極力株主総会当日のご来場をお控えいただき、書面又はインターネットによる議決権の事前行使をお願い申しあげます。

本年より、ご来場の株主様へのお土産は取り止めさせていただきます。何卒ご理解くださいましますようお願い申しあげます。

### 目 次

第7回 定時株主総会招集ご通知	1
株主総会参考書類	5
議案 取締役6名選任の件	5
提供書面	
事業報告	9
連結計算書類	27
計算書類	30
監査報告書	33

証券コード 6083  
2020年8月13日

## 株 主 各 位

東京都港区赤坂八丁目10番24号  
E R I ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 増田 明世

## 第7回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第7回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申しあげます。

株主の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止及び株主の皆様の安全確保のため、極力株主総会当日のご来場をお控えいただき、書面又はインターネットによる議決権の事前行使をお願い申しあげます。なお、株主総会にご来場される株主様におかれましては、マスク着用などの感染対策にご配慮いただきますようお願い申しあげますとともに、当社の判断に基づき、会場において感染拡大防止及び株主の皆様の安全確保のために必要な措置を講じる場合がありますので、ご協力のほどお願い申しあげます。

書面又はインターネットによる議決権の事前行使にあたっては、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、3頁～4頁に記載の「議決権行使のご案内」にしたがって、2020年8月27日(木曜日) 午後5時30分までにご行使くださいますようお願い申しあげます。

敬 具

記

**1. 日 時** 2020年8月28日 (金曜日) 午前10時 (受付開始 午前9時)

**2. 場 所** 東京都千代田区平河町二丁目4番1号

都市センターホテル (日本都市センター会館内) 3階 コスモスホール  
(末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。)

※昨年と会場が異なりますので、お間違えのないようご注意ください。

### 3. 目的項目

- 報告事項**
1. 第7期（2019年6月1日から2020年5月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  2. 第7期（2019年6月1日から2020年5月31日まで）計算書類報告の件

### 決議事項

議 案 取締役6名選任の件

### 4. 議決権行使に関する事項

- ・各議案に賛否の意思表示がない場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。
- ・議決権行使書面とインターネットによる方法と重複して議決権行使された場合は、インターネットによるものを有効な議決権行使として取り扱わせていただきます。
- ・インターネットにより議決権を複数回行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使として取り扱わせていただきます。

以上

~~~~~  
◎当社ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。

◎紙資源の削減のため、本招集ご通知をお持ちくださいますようお願い申しあげます。

◎本招集ご通知に際して提供すべき書面のうち、「業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況」、「連結注記表」及び「個別注記表」につきましては、法令及び当社定款第17条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.h-eri.co.jp>）に掲載しておりますので、本招集ご通知の提供書面には記載しておりません。従いまして、本招集ご通知の提供書面は、監査報告書を作成するに際して、監査役及び会計監査人が監査をした対象の一部であります。また、株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合も、当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

◎本総会はクールビズ（軽装）スタイルで実施いたします。株主の皆様におかれましても軽装でお越しくださいますようお願い申しあげます。

◎新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第では、本総会の運営を変更する場合があります。運営に変更が生じた場合は、当社ウェブサイト（<https://www.h-eri.co.jp>）にてお知らせいたします。

◎本年より、ご来場の株主様へのお土産は取り止めさせていただきます。何卒ご理解くださいますようお願い申しあげます。

# 議決権行使のご案内

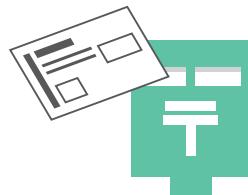
株主総会参考書類（5頁～8頁）をご検討のうえ、議決権のご行使をお願い申しあげます。  
議決権のご行使には以下の方法がございます。



## 株主総会への出席による議決権行使

同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。また、第7回定期株主総会招集ご通知（本書）をご持参ください。

**開催日時** 2020年8月28日（金曜日）午前10時（受付開始 午前9時）



## 書面による議決権行使

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、行使期限までに到着するようにご返送ください。

**行使期限** 2020年8月27日（木曜日）午後5時30分到着分まで



## インターネットによる議決権行使

当社指定の議決権行使ウェブサイト、又はスマートフォンによる「スマート行使」にて議案の賛否をご入力ください。

詳細は次頁をご参照ください。

**行使期限** 2020年8月27日（木曜日）午後5時30分行使分まで

### 重複して行使された議決権の取扱いについて

- (1) 書面とインターネット（「スマート行使」を含む。）により二重に議決権を行使された場合は、インターネット（「スマート行使」を含む。）によるものを有効な議決権行使として取り扱わせていただきます。
- (2) インターネット（「スマート行使」を含む。）により議決権を複数回行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使として取り扱わせていただきます。

ご不明な点につきましては、以下にお問い合わせくださいますようお願い申しあげます。

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

議決権行使について

0120-652-031 (9:00～21:00)

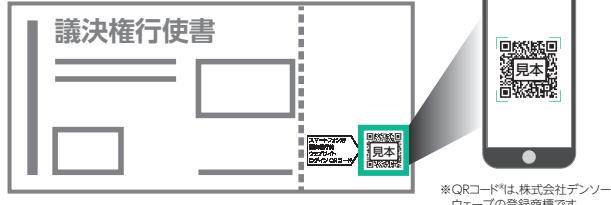
その他のご照会

0120-782-031 (平日9:00～17:00)

# 「スマート行使」によるご行使

## ①スマートフォン用議決権行使ウェブサイトへアクセスする

同封の議決権行使書用紙の右下「スマートフォン用  
議決権行使ウェブサイトログインQRコード<sup>®</sup>」をス  
マートフォンかタブレット端末で読み取ります。



※QRコード<sup>®</sup>は、株式会社デンソー  
ウェーブの登録商標です。

## ②議決権行使ウェブサイトを開く

表示されたURLを開くと  
議決権行使ウェブサイト画面が開きます。  
議決権行使方法は2つあります。

**③各議案について個別に指示する**

**④すべての会社提案議案について「賛成」する**

画面の案内に従って各議案の  
賛否をご入力ください。

**第1号議案 第〇期期末余金の処分の件**  
賛成 反対

**第2号議案 定款一部変更の件**  
賛成 反対

一度議決権行使した後で行使内容を変更される場合、再度QRコード<sup>®</sup>を読み取り、同封の議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」「パスワード」をご入力いただく必要があります（パソコンから、議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net> へ直接アクセスして行使いただくことも可能ですが）。

※ 議決権行使ウェブサイトをご利用いただく際の接続料金及び通信料金等は株主様のご負担となります。

※ インターネットのご利用環境、ご加入のサービスやご使用の機種によっては、議決権行使ウェブサイトをご利用いただけない場合があります。

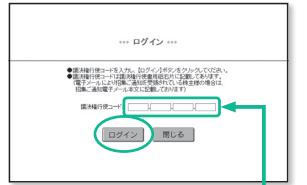
# パソコン等によるご行使

## ①議決権行使ウェブサイトへアクセスする

<https://www.web54.net>

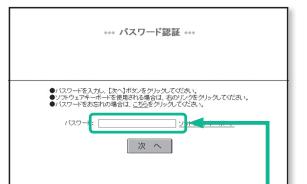


## ②ログインする



同封の議決権行使書用紙  
に記載の「議決権行使コード」をご入力ください。

## ③パスワードを入力する



同封の議決権行使書用紙  
に記載の「パスワード」をご  
入力ください。

以降は画面の案内に従って  
賛否をご登録ください。

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 議 案 取締役 6 名選任の件

取締役 6 名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、取締役 6 名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号                                                                                                                                                                                   | 氏名                                                                            | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1                                                                                                                                                                                       | なか ざわ よし き<br>中澤芳樹<br><br>再任<br>●生年月日<br>1951年5月5日<br>●所有する当社の株式数<br>234,400株 | 2000年4月 日本E.R.I株式会社入社<br>2000年5月 同社取締役<br>2001年5月 同社常務取締役<br>2002年11月 同社代表取締役社長<br>2004年2月 同社代表取締役副社長<br>2009年6月 同社代表取締役社長<br>2013年12月 当社代表取締役社長<br>2015年8月 当社代表取締役会長（現任）<br>2015年8月 日本E.R.I株式会社代表取締役会長（現任） |
| 【取締役候補者とした理由】                                                                                                                                                                           |                                                                               |                                                                                                                                                                                                             |
| 同氏は、中核事業会社である日本E.R.I株式会社の代表取締役社長、当社設立時以降当社代表取締役社長、代表取締役会長を務め、創業以来当社グループの経営の中核を担ってまいりました。当社グループの事業全般について豊富な業務経験と経営に関する幅広い知見を有しており、引き続き取締役会における重要な意思決定及び執行の監督に十分な役割を果たすことが期待できると判断したものです。 |                                                                               |                                                                                                                                                                                                             |

| 候補者番号 | 氏名                                                                                         | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 2     | <p>ます<br/>増 田 明 世</p> <p>再任</p> <p>●生年月日<br/>1958年7月28日</p> <p>●所有する当社の株式数<br/>26,400株</p> | <p>2003年4月 日本E R I株式会社入社</p> <p>2003年7月 同社執行役員</p> <p>2004年5月 日本住宅ワランティ株式会社（現株式会社E R Iソリューション）代表取締役社長</p> <p>2005年6月 日本E R I株式会社取締役</p> <p>2012年8月 同社代表取締役専務</p> <p>2012年8月 株式会社E R Iソリューション取締役</p> <p>2013年12月 当社代表取締役専務経営企画グループ長</p> <p>2015年8月 当社代表取締役社長（現任）</p> <p>2015年8月 日本E R I株式会社取締役（現任）</p> <p>2017年3月 株式会社イーピーエーシステム取締役（現任）</p> <p>2017年11月 株式会社住宅性能評価センター取締役（現任）</p> <p>2018年8月 株式会社東京建築検査機構取締役（現任）</p> |  |

## 【取締役候補者とした理由】

同氏は、中核事業会社である日本E R I株式会社の経営企画・管理に携わってきたほか子会社の代表取締役社長も務め、当社設立時に当社代表取締役専務、2015年8月に代表取締役社長に就任しております。当社グループの事業全般について豊富な業務経験と経営に関する幅広い知見を有しており、引き続き取締役会における重要な意思決定及び執行の監督に十分な役割を果たすことが期待できると判断したものです。

|   |                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                              |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 | <p>たけ の うち てつ じ<br/>竹之内 哲次</p> <p>再任</p> <p>●生年月日<br/>1964年4月8日</p> <p>●所有する当社の株式数<br/>10,200株</p> | <p>2011年11月 日本E R I株式会社入社</p> <p>2011年11月 株式会社E R Iソリューション取締役</p> <p>2012年9月 同社常務取締役</p> <p>2015年8月 当社執行役員経営企画グループ長</p> <p>2017年8月 当社取締役経営企画グループ長</p> <p>2017年11月 当社取締役経営企画グループ長兼広報IRグループ長</p> <p>2019年8月 当社常務取締役経営企画グループ長兼広報IRグループ長（現任）</p> |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 【取締役候補者とした理由】

同氏は、当社グループの成長分野を担う株式会社E R Iソリューションの常務取締役を務め、2017年8月からは当社取締役、昨年8月からは常務取締役として経営企画部門を担当しております。当社グループの主要分野について豊富な業務経験と経営に関する幅広い知見を有しており、引き続き取締役会における重要な意思決定及び執行の監督に十分な役割を果たすことができると判断したものです。

| 候補者番号                                                                                                                                                                                            | 氏 名                                                                                                     | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4                                                                                                                                                                                                | <p>馬野俊彦<br/>うま の とし ひこ</p> <p>再任</p> <p>●生年月日<br/>1964年3月15日</p> <p>●所有する当社の株式数<br/>23,500株</p>         | <p>2002年1月 日本E R I株式会社入社<br/>2002年11月 同社執行役員<br/>2003年4月 同社上級執行役員<br/>2005年6月 同社取締役<br/>2009年6月 同社常務取締役<br/>2012年8月 同社代表取締役専務<br/>2013年12月 当社代表取締役専務<br/>2015年8月 当社取締役（現任）<br/>2015年8月 日本E R I株式会社代表取締役社長（現任）</p>                                                       |
| 【取締役候補者とした理由】                                                                                                                                                                                    |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 同氏は、中核事業会社である日本E R I株式会社において経営企画部門、確認検査部門の長を務め、2015年8月からは同社代表取締役社長に就任し、当社設立時より当社取締役等に就任しております。当社グループの中核事業について豊富な業務経験と経営に関する幅広い知見を有しており、引き続き取締役会における重要な意思決定及び執行の監督に十分な役割を果たすことが期待できると判断したものであります。 |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 5                                                                                                                                                                                                | <p>山宮慎一郎<br/>やま みや しんいちろう</p> <p>再任 社外取締役 独立役員</p> <p>●生年月日<br/>1970年2月4日</p> <p>●所有する当社の株式数<br/>0株</p> | <p>1995年4月 弁護士登録<br/>新東京総合法律事務所入所<br/>2006年1月 新東京法律事務所パートナー<br/>2006年6月 日本E R I株式会社社外監査役<br/>2007年10月 ビンガム・マカッテン・ムラセ外国法事務弁護士事務所坂井・三村・相澤法律事務所（外国法共同事業）パートナー<br/>2013年12月 当社社外監査役<br/>2015年4月 T M I総合法律事務所パートナー（現任）<br/>2015年6月 元気寿司株式会社社外監査役<br/>2015年8月 当社社外取締役（現任）</p> |
| 【社外取締役候補者とした理由】                                                                                                                                                                                  |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 同氏は、弁護士としての高度の専門的知識と企業法務や事業再生等の実務を通じて培われた企業経営に関する幅広い知見を有しており、引き続き取締役会における業務執行の監督機能を強化することができると共に幅広い視点からの提言を得られると判断したものであります。                                                                     |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                         |

| 候補者番号 | 氏名                                                                                           | 略歴、当社における地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 6     | かん の ひろし<br><b>菅野 寛</b><br><b>再任 社外取締役 独立役員</b><br>●生年月日<br>1958年11月14日<br>●所有する当社の株式数<br>0株 | 1983年4月 株式会社日建設計入社<br>1991年8月 ボストンコンサルティンググループ入社<br>同社最終役職パートナー＆マネージング・ディレクター<br><br>2008年7月 一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授<br>2011年6月 オムロンヘルスケア株式会社社外取締役（現任）<br>2012年4月 一橋大学大学院国際企業戦略研究科研究科長<br>2014年6月 株式会社WOWOW社外取締役<br>2015年6月 スタンレー電気株式会社社外監査役（現任）<br>2016年3月 三井海洋開発株式会社社外取締役<br>2016年9月 早稲田大学大学院経営管理研究科教授（現任）<br>2017年8月 当社社外取締役（現任） |  |

## 【社外取締役候補者とした理由】

同氏は、経営コンサルタントとしての豊富な経験と企業戦略立案の研究者として企業経営に関する高度の専門知識と幅広い知見を有しており、引き続き取締役会における業務執行の監督機能を強化することができると共に幅広い視点からの提言を得られると判断したものです。

- (注) 1. 山宮慎一郎氏及び菅野寛氏は、社外取締役候補者であります。  
 2. 各取締役候補者と当社の間には、特別の利害関係はありません。  
 3. 山宮慎一郎氏及び菅野寛氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出しております。本総会において両氏の取締役選任が承認された場合、引き続き両氏を独立役員として届出する予定であります。  
 4. 山宮慎一郎氏の当社社外取締役在任期間は、本定時株主総会終結の時をもって5年であります。また、同氏は過去当社及び日本E.R.I.株式会社の社外監査役であります。  
 5. 菅野寛氏の当社社外取締役在任期間は、本定時株主総会終結の時をもって3年であります。  
 6. 山宮慎一郎氏及び菅野寛氏と当社との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、700万円又は同法第425条第1項に定める最低責任限度額のいずれか高い額としております。本総会において両氏の取締役選任が承認された場合は、本契約は継続となります。  
 7. 所有する当社の株式数は2020年5月31日現在のものであります。

以上

(提供書面)

## 事業報告

(2019年6月1日から)  
(2020年5月31日まで)

### 1. 企業集団の現況

#### (1) 当連結会計年度の事業の状況

##### ① 事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴い消費者マインドが低下し、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、輸出・生産や企業収益、個人消費が大幅に悪化するとともに、企業の資金繰りが悪化する等、企業金融面で金融環境の緩和度合いが低下し、雇用・所得環境及び設備投資に弱めの動きが見られるなど、極めて厳しい状況にありました。

当業界において、住宅市場については、金融機関の融資姿勢の変化による貸家の着工戸数の低下に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う持家の着工戸数の低下により、新設住宅着工戸数は減少いたしました。非住宅の建設市場については、店舗、工場等の着工床面積が減少となったことにより、着工床面積が全体として減少いたしました。

このような情勢の下、当社グループは新築住宅の分野においては、確認検査業務、住宅性能評価業務、住宅瑕疵担保責任保険の検査業務、長期優良住宅技術的審査業務などをワンストップで遂行すること及び全国ネットワーク体制の強化により、他機関との差別化を図りました。また、省エネ適判業務（建築物エネルギー消費性能適合性判定業務）を梃に、大型建築物の受注強化に取り組んでまいりました。加えて、建築物の省エネ化、ストック活用に資する既存建築物の遵法性調査等への取り組みなど、新たな需要を的確に捉えて、当社グループの相乗効果を発揮し、業績の向上に努めてまいりました。

また、当社が中期経営計画に掲げる新規分野での事業領域拡大のため、2019年5月24日に株式会社構造総合技術研究所の株式を取得し子会社化いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、住宅性能評価及び関連事業、ソリューション事業がそれぞれ増収となったものの、確認検査事業、その他事業がそれぞれ減収となつたことから、売上高は前期比1.6%減の14,842百万円となりました。営業費用は、システム投資により減価償却費等が増加した結果、前期比0.5%増の14,325百万円となり、営業利益は前期比37.0%減の517百万円、経常利益は前期比29.3%減の598百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比50.6%減の258百万円となりました。

## 売上高

**14,842**百万円 ↓  
(前期比1.6%減)

## 営業利益

**517**百万円 ↓  
(前期比37.0%減)

## 経常利益

**598**百万円 ↓  
(前期比29.3%減)

## 親会社株主に帰属する当期純利益

**258**百万円 ↓  
(前期比50.6%減)

セグメント別の状況は次のとおりであります。

### 確認検査事業

非住宅の建設市場における店舗、工場等の着工床面積減少に伴う確認検査の売上減少に加え、貸家に係る確認検査の売上の減少等により、売上高は前期比3.6%減の7,613百万円、営業利益は前期比35.0%減の469百万円となりました。

### 住宅性能評価及び関連事業

建設住宅性能評価の売上の増加等により、売上高は前期比2.1%増の3,772百万円、営業利益は前期比122.6%増の211百万円となりました。

### ソリューション事業

株式会社構造総合技術研究所の連結子会社化に伴う売上の計上等により、売上高は前期比21.3%増の1,462百万円、営業利益は前期比74.0%増の144百万円となりました。

### その他

評定関連業務に係る売上の減少等により、売上高は前期比12.4%減の1,994百万円、営業損失は245百万円（前期は営業損失17百万円）となりました。

売上高  
(単位：百万円)

7,898 7,613

第6期 第7期

営業利益  
(単位：百万円)

723 469

第6期 第7期

売上高  
(単位：百万円)

3,695 3,772

第6期 第7期

営業利益  
(単位：百万円)

211

95  
第6期 第7期

売上高  
(単位：百万円)

1,205 1,462

第6期 第7期

営業利益  
(単位：百万円)

144

83  
第6期 第7期

売上高  
(単位：百万円)

2,276 1,994

第6期 第7期

営業利益  
(単位：百万円)

△17 △245

第6期 第7期

## セグメント別売上高及び営業利益の状況

## セグメント情報



(単位：百万円)

|              | 売上高    | 前期比<br>増減金額 | 前期比<br>増減率 | 営業利益 | 前期比<br>増減金額 | 前期比<br>増減率 |
|--------------|--------|-------------|------------|------|-------------|------------|
| 確認検査事業       | 7,613  | △285        | △3.6%      | 469  | △253        | △35.0%     |
| 住宅性能評価及び関連事業 | 3,772  | 76          | 2.1%       | 211  | 116         | 122.6%     |
| ソリューション事業    | 1,462  | 256         | 21.3%      | 144  | 61          | 74.0%      |
| その他          | 1,994  | △281        | △12.4%     | △245 | △228        | —          |
| 調整額          | —      | —           | —          | △63  | 0           | —          |
| 合計           | 14,842 | △234        | △1.6%      | 517  | △303        | △37.0%     |

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

② 設備投資の状況

当連結会計年度における設備投資の総額は325百万円であり、主なものはWindows10への移行に伴うパソコンの入替107百万円、本社移転31百万円、並びに就業及び経費管理システム29百万円等であります。

③ 資金調達の状況

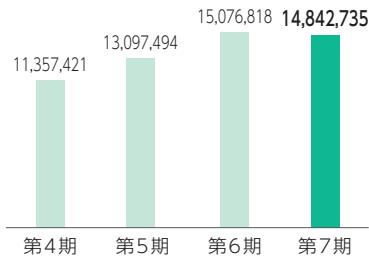
当連結会計年度において、運転資金として金融機関から資金を調達しましたが、当連結会計年度末現在において当該借入金はすべて返済しております。

## (2) 財産及び損益の状況

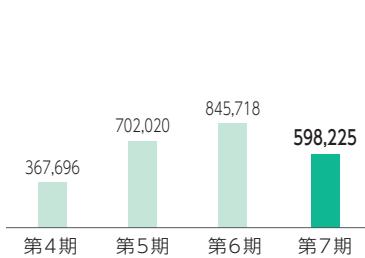
| 区分(単位)              | 2016年度<br>(第4期) | 2017年度<br>(第5期) | 2018年度<br>(第6期) | 2019年度<br>(第7期)<br>当連結会計年度 |
|---------------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------------|
| 売上高(千円)             | 11,357,421      | 13,097,494      | 15,076,818      | 14,842,735                 |
| 経常利益(千円)            | 367,696         | 702,020         | 845,718         | 598,225                    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 212,794         | 429,924         | 523,097         | 258,226                    |
| 1株当たり当期純利益(円)       | 27.17           | 55.37           | 68.94           | 33.69                      |
| 総資産(千円)             | 4,109,057       | 6,346,951       | 6,896,687       | 6,762,841                  |
| 純資産(千円)             | 2,298,054       | 2,296,861       | 2,561,934       | 2,746,897                  |

(注) 第7期の状況については前記「事業の経過及びその成果」のとおりであります。

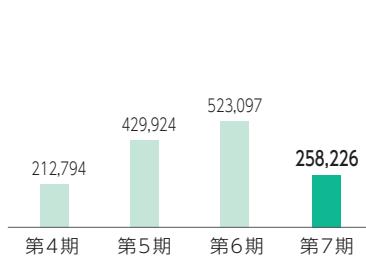
■ 売上高(千円)



■ 経常利益(千円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益(千円)



■ 1株当たり当期純利益(円)



■ 総資産(千円)



■ 純資産(千円)



### (3) 重要な子会社の状況

#### ① 重要な子会社の状況

| 会 社 名            | 資本金       | 当社の議決権比率           | 主要な事業内容                                    |
|------------------|-----------|--------------------|--------------------------------------------|
| 日本E R I 株式会社     | 100,000千円 | 100.0%             | 確認検査事業、住宅性能評価及び関連事業等                       |
| 株式会社住宅性能評価センター   | 100,000千円 | 97.0%              | 確認検査事業、住宅性能評価及び関連事業等                       |
| 株式会社E R Iソリューション | 80,000千円  | 100.0%             | 施工中・既存建築物の調査診断事業及び関連事業等                    |
| 株式会社東京建築検査機構     | 100,000千円 | 98.0%              | 確認検査事業、構造計算適合性判定事業、施工中・既存建築物の調査診断事業及び関連事業等 |
| 株式会社構造総合技術研究所    | 30,000千円  | 100.0%             | 非破壊検査業務全般、高速道路・橋梁及びその他建造物の調査・診断            |
| 株式会社イーピーエーシステム   | 10,000千円  | 100.0%             | 建築C A D・積算システムの受託開発等                       |
| 株式会社E R I アカデミー  | 50,000千円  | 100.0%<br>(100.0%) | 建築士の定期講習等                                  |

(注) 議決権比率の( )内は、間接所有割合で内数であります。

#### ② 特定完全子会社に関する事項

##### イ. 特定完全子会社の名称及び住所

日本E R I 株式会社

東京都港区赤坂八丁目10番24号

##### ロ. 当社及び完全子会社等における特定完全子会社の株式の当事業年度の末日における帳簿価額の合計額

1,660百万円

##### ハ. 当社の当事業年度に係る貸借対照表の資産の部に計上した額の合計額

4,404百万円

#### (4) 対処すべき課題

新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響により、国内外の経済活動が大きな制約を余儀なくされる状況にあり、世界経済全体に景気の減速が予想されています。わが国経済につきましても、国を挙げての新型コロナウイルス感染症対策が一定の効果を発揮し、経済活動の正常化に向けて動き出しているものの、個人消費の停滞と企業業績の悪化が避けられない見通しであることから、当面厳しい状況が続くものと思われます。

当社グループが属する住宅・建築業界を取り巻く事業環境につきましては、コロナ禍の影響によって、新設住宅着工戸数の落ち込みが予想される他、堅調に続いてきた企業の設備投資についても、企業業績への影響が大きい業態では慎重な姿勢への転換が予想されるなど、今後の動向には十分留意する必要があると考えております。

新型コロナウイルス感染症の沈静化が実現するまでの間、当社グループは、お取引先様、従業員をはじめとするステークホルダーの皆様の安全に細心の注意を払いながら、建築物等の社会インフラの安心・安全を支えるべく業務を継続してまいります。そのためには、新しいライフスタイルやワークスタイルの潮流を見据えて、接触（対面）から非接触（リモート）への変革に対応しつつ、生産性向上を実現できるデジタル化を積極的に進めていくことが不可欠と考えます。同時に、先行き不透明な事業環境に備えるため、財務面では手元資金の積み増しを図るなど、慎重に運営を行ってまいります。

このような環境認識の下、当社グループは今後の事業環境の変化に備えて対処すべきこれらの課題を踏まえ、ステークホルダーの皆様から評価される新たな価値を創造するべく掲げた3ヶ年の中期経営計画を推進してまいります。この計画では以下の3つの戦略分野を掲げ、持続的な成長と安定的な収益の実現を目指しています。

##### ① 既存中核事業の収益力強化

ICTへの投資並びにBIM（Building Information Modeling）の活用をはじめとするデジタルトランスフォーメーションの推進によって、コロナ対策で求められるテレワーク推進や人材不足などの課題に対処するとともに業務効率の向上を目指します。また、主力の建築確認及び住宅性能評価は業界の再編機会を的確に捉え、M&Aによる市場シェアの拡大を目指します。

## ② 成長事業への投資拡大

省エネ基準適合義務化の対象拡大スケジュールを見据えて、省エネ関連業務の拡大に対応できる態勢を構築すると同時に、既存中核事業のシェアアップの原動力とします。また、建築ストック市場に関連する調査・診断業務には、経営資源を積極投入して中核事業化を目指します。引き続きストック関連企業のM&Aの機会を積極的に模索してまいります。

## ③ 事業領域の拡大

グループの技術力、ブランド力を活かせる新規分野にて事業領域の拡大を図ります。新規参入したインフラストック（土木構造物）分野の事業拡大を、M&Aの活用も含め積極的に推進します。また、海外における事業展開を的確に捉えるため、情報収集を継続します。

計画最終年度（2022年5月期）における計数目標

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 売上高   | 185億円以上（内、M&A効果20億円程度） |
| 営業利益  | 12億円以上                 |
| 営業利益率 | 6.5%以上                 |
| ROE   | 20%以上                  |
| 配当    | 安定的配当を継続する（配当性向は30%以上） |

今後も、当社の経営理念である「七つの理念」の下に、「信頼性向上」と「ERIブランドの確立」にむけた取り組みを通じて、建築分野における専門的な第三者検査機関としての社会的使命を果たしてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

## (5) 主要な事業内容 (2020年5月31日現在)

当社は2013年12月2日に単独株式移転の方法により日本E R I 株式会社の完全親会社として設立されました。当社グループは、持株会社である当社及び連結子会社7社(日本E R I 株式会社、株式会社住宅性能評価センター、株式会社E R I ソリューション、株式会社東京建築検査機構、株式会社イーピーエーシステム、株式会社E R I アカデミー、及び株式会社構造総合技術研究所) の計8社で構成され、建築物等に関する専門的第三者機関として、社名にある、Evaluation(評価) Rating(格付け) Inspection(検査) を主な事業として展開しております。当社グループの事業における各社の位置付け及びセグメントとの関連は、次のとおりで、以下に示す区分は、セグメントと同一の区分であります。

### ① 確認検査事業

建築基準法に基づく建築物の建築確認検査機関※1として、建築確認、中間検査、完了検査を行っております。

(主な関係会社) 日本E R I 株式会社、株式会社住宅性能評価センター、株式会社東京建築検査機構

### ② 住宅性能評価及び関連事業

住宅の品質確保の促進等に関する法律(住宅品質確保法)に基づく住宅性能評価機関※2として、設計住宅性能評価、建設住宅性能評価を行っております。また関連事業として、長期優良住宅の認定に係る技術的審査を行っております。

(主な関係会社) 日本E R I 株式会社、株式会社住宅性能評価センター、株式会社東京建築検査機構

### ③ ソリューション事業

施工中・既存建築物に関する事業として、建築基準法適合状況調査※1、不動産取引などにおけるエンジニアリングレポートの作成、遵法性調査などのデューデリジェンス、現況調査や施工監査、非破壊検査などのインスペクション、既存住宅性能評価※2、長期優良住宅(増改築)技術的審査※2、ホームインスペクションなどのその他コンシューマー、CASBEE認証、インフラストック点検・診断などを行っております。

(主な関係会社) 日本E R I 株式会社、株式会社住宅性能評価センター、株式会社E R I ソリューション、株式会社東京建築検査機構、株式会社構造総合技術研究所

#### ④ その他

住宅瑕疵担保責任保険の検査、フラット35適合証明、超高層建築物等構造評定※3、型式適合認定※4、住宅型式性能認定※5、特別評価方法認定のための試験※6、耐震診断・耐震改修計画の判定、低炭素建築物の技術的審査※2※7、B E L S（建築物省エネルギー性能表示制度）評価※2※7、エネルギーパス第三者認証、建築物エネルギー消費性能適合性判定※7、建築物エネルギー消費性能評価※8、性能向上計画認定に係る技術的審査※2※7、認定表示に係る技術的審査※2※7、構造計算適合性判定※9などを行っております。

また、建築士定期講習※10、建築基準適合判定資格者検定の受検講座、建築技術者向けセミナー、建築CAD・積算システムの受託開発などを行っております。

(主な関係会社) 日本E R I 株式会社、株式会社住宅性能評価センター、株式会社東京建築検査機構、株式会社イーピーエーシステム、株式会社E R I アカデミー

- ※ 1 指定確認検査機関（国土交通大臣指定）
- ※ 2 登録住宅性能評価機関（国土交通大臣登録）
- ※ 3 指定性能評価機関（国土交通大臣指定）
- ※ 4 指定認定機関（国土交通大臣指定）
- ※ 5 登録住宅型式性能認定等機関（国土交通大臣登録）
- ※ 6 登録試験機関（国土交通大臣登録）
- ※ 7 登録建築物エネルギー消費性能判定機関（国土交通大臣登録）
- ※ 8 登録建築物エネルギー消費性能評価機関（国土交通大臣登録）
- ※ 9 指定構造計算適合性判定機関（国土交通大臣指定）
- ※ 10 登録講習機関（国土交通大臣登録）

## (6) 主要な営業所（2020年5月31日現在）

① 本社 東京都港区

② 子会社

|                  |         |
|------------------|---------|
| 日本E R I 株式会社     | 東京都港区   |
| 株式会社住宅性能評価センター   | 東京都新宿区  |
| 株式会社E R Iソリューション | 東京都港区   |
| 株式会社東京建築検査機構     | 東京都中央区  |
| 株式会社構造総合技術研究所    | 大阪府東大阪市 |
| 株式会社イーピーエーシステム   | 東京都渋谷区  |
| 株式会社E R Iアカデミー   | 東京都港区   |

## (7) 企業集団の従業員の状況（2020年5月31日現在）

| 従業員数         | 前連結会計年度末比増減 |
|--------------|-------------|
| 1,339 (110)名 | 11名増 (24名減) |

(注) 従業員数は就業人員（当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含んでおります。）であり、臨時雇用者（パートタイマー、人材派遣会社からの派遣社員を含みます。）の年間平均人員数を（ ）内に記載しております。

## (8) 主要な借入先（2020年5月31日現在）

| 借入先          | 借入金残高     |
|--------------|-----------|
| 株式会社三井住友銀行   | 697,500千円 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 557,662千円 |

(注) 三井住友信託銀行株式会社からの借入金残高には「従業員持株会信託型E S O P」による借入金192,637千円を含んでおります。

持株会信託は会計処理上当社と一体であるとの処理をしているため、上記に記載しております。詳細につきましては「連結注記表 6. 追加情報」（インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.h-eri.co.jp>）に掲載しております）をご参照ください。

## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況 (2020年5月31日現在)

① 発行可能株式総数 28,500,000株

② 発行済株式の総数 7,832,400株  
(うち自己株式 85株)

③ 株主数 3,973名



④ 大株主 (上位10名)

| 株主名                       | 持株数      | 持株比率 |
|---------------------------|----------|------|
| E R I ホールディングス従業員持株会      | 743,700株 | 9.5% |
| 鈴木崇英                      | 528,500株 | 6.7% |
| ミサワホーム株式会社                | 351,000株 | 4.5% |
| 大和ハウス工業株式会社               | 351,000株 | 4.5% |
| 三井ホーム株式会社                 | 351,000株 | 4.5% |
| 積水化学工業株式会社                | 351,000株 | 4.5% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 273,300株 | 3.5% |
| 中澤芳樹                      | 234,400株 | 3.0% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 199,500株 | 2.5% |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社        | 184,800株 | 2.4% |

(注) 持株比率については自己株式(85株)を控除して算出しております。なお、「従業員持株会信託型ESOP」制度の信託財産として日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が所有する当社株式98,000株は、自己株式には含まれません。

## (2) 会社役員の状況

### ① 取締役及び監査役の状況（2020年5月31日現在）

| 地 位     | 氏 名     | 担当及び重要な兼職の状況                                                                   |
|---------|---------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役会長 | 中 澤 芳 樹 | 日本E R I 株式会社代表取締役会長                                                            |
| 代表取締役社長 | 増 田 明 世 | 日本E R I 株式会社取締役<br>株式会社イーピーエーシステム取締役<br>株式会社住宅性能評価センター取締役<br>株式会社東京建築検査機構取締役   |
| 常務取締役   | 竹之内 哲 次 | 経営企画グループ長兼広報 I R グループ長                                                         |
| 取締役     | 馬 野 俊 彦 | 日本E R I 株式会社代表取締役社長                                                            |
| 取締役     | 山 宮 慎一郎 | T M I 総合法律事務所パートナー                                                             |
| 取締役     | 菅 野 寛   | 早稲田大学大学院経営管理研究科教授<br>オムロンヘルスケア株式会社社外取締役<br>スタンレー電気株式会社社外監査役                    |
| 常勤監査役   | 堂 山 俊 介 | 日本E R I 株式会社監査役                                                                |
| 監査役     | 加 藤 茂   | 日本E R I 株式会社監査役<br>株式会社E R I ソリューション監査役<br>株式会社東京建築検査機構監査役<br>株式会社構造総合技術研究所監査役 |
| 監査役     | 太 田 裕 士 | 公認会計士太田裕士事務所代表<br>東陽監査法人代表社員<br>日本E R I 株式会社監査役                                |
| 監査役     | 西 村 賢   | 法律事務所C o m m & P a t h パートナー<br>株式会社宇野澤組鐵工所社外監査役<br>日本E R I 株式会社監査役            |

- (注) 1. 取締役山宮慎一郎氏及び取締役菅野寛氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 2. 監査役太田裕士氏及び監査役西村賢氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。  
 3. 監査役加藤茂氏は、長年にわたり当社他の経理財務部門の責任者などを歴任しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。  
 4. 監査役太田裕士氏は公認会計士であり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。  
 5. 取締役山宮慎一郎氏及び取締役菅野寛氏並びに監査役太田裕士氏及び監査役西村賢氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。  
 6. 監査役堂山俊介氏及び監査役加藤茂氏は、2019年8月29日第6回定期株主総会において、監査役に選任され、就任しました。  
 7. 金澤秀一氏及び大塚和彦氏は、2019年8月29日第6回定期株主総会終結の時をもって辞任により監査役を退任しました。  
 8. 取締役山宮慎一郎氏は、2019年6月21日付で元気寿司株式会社の社外監査役を退任しました。  
 9. 取締役菅野寛氏は、2019年6月20日付で株式会社WOWOWの社外取締役を退任しました。また、2020年3月19日付で三井海洋開発株式会社社外取締役を退任しました。

## ② 責任限定契約に関する事項

当社と社外取締役及び監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、7,000千円又は同法第425条第1項に定める最低責任限度額のいずれか高い額としております。

## ③ 取締役及び監査役の報酬等の総額

| 区分                                     |                        |   |   | 支給人員       | 支給額                     |
|----------------------------------------|------------------------|---|---|------------|-------------------------|
| 取<br>(う<br>ち<br>社<br>外<br>取<br>締<br>役) | 締<br>外<br>取<br>締<br>役) | 役 | 役 | 6名<br>(2名) | 129,474千円<br>(14,880千円) |
| 監<br>(う<br>ち<br>社<br>外<br>監<br>査<br>役) | 査<br>外<br>監<br>査<br>役) | 役 | 役 | 6名<br>(2名) | 36,150千円<br>(9,120千円)   |
| 合計                                     |                        |   |   | 12名        | 165,624千円               |

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。  
2. 取締役の報酬限度額は、2014年8月28日開催の第1回定期株主総会において年額400,000千円以内(うち社外取締役分は年額30,000千円以内)と決議いただいております。  
3. 監査役の報酬限度額は、2014年8月28日開催の第1回定期株主総会において年額100,000千円以内と決議いただいております。

## ④ 取締役の報酬等の額の決定に関する方針

取締役の報酬は、基本報酬と賞与から構成し、取締役会により決定いたします。基本報酬は、各取締役の役位に応じて支給し、賞与については、会社の営業成績を考慮し支給いたします。

## ⑤ 社外役員に関する事項

### イ. 重要な兼職先と当社との関係

社外役員の重要な兼職の状況につきましては、「①取締役及び監査役の状況」に記載のとおりであります。これらの兼職先（日本E R I株式会社を除く）と当社との間には特別な関係はありません。日本E R I株式会社は、当社連結子会社であります。

□. 当事業年度における主な活動状況（2020年5月31日現在）

| 区分  | 氏名    | 在任期間  | 取締役会への出席状況       | 監査役会への出席状況       | 取締役会及び監査役会における発言状況                                           |
|-----|-------|-------|------------------|------------------|--------------------------------------------------------------|
| 取締役 | 山宮慎一郎 | 4年9ヶ月 | 14/14回<br>(100%) | —                | 弁護士としての高度な専門的知見と事業再生等を通じた企業経営に関する豊富な経験に基づいて、提言・助言を行っております。   |
| 取締役 | 菅野寛   | 2年9ヶ月 | 14/14回<br>(100%) | —                | 経営コンサルタントとしての豊富な経験、企業経営に関する高度な専門知識と幅広い知見に基づいて、提言・助言を行っております。 |
| 監査役 | 太田裕士  | 6年6ヶ月 | 14/14回<br>(100%) | 14/14回<br>(100%) | 主に公認会計士として培われた財務・会計に関する高度な専門的知見に基づいて、提言・助言を行っております。          |
| 監査役 | 西村賢   | 4年9ヶ月 | 13/14回<br>(93%)  | 13/14回<br>(93%)  | 主に弁護士として培われた企業法務・コンプライアンス等に関する高度な専門的知見に基づいて、提言・助言を行っております。   |

### (3) 会計監査人の状況

① 名称

有限責任 あずさ監査法人

② 報酬等の額

|                                     | 支 払 額    |
|-------------------------------------|----------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                 | 18,500千円 |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 36,000千円 |

- (注) 1. 当社監査役会は、日本監査役協会が公表する『会計監査人との連携に関する実務指針』を踏まえ、適時に合理的な報酬で効率的に実施される高品質な監査であることを確認し、検討した結果、会計監査人の報酬につき、会社法第399条第1項の同意を行っております。
2. 当社の子会社のうち、日本E R I 株式会社は、有限責任 あずさ監査法人の監査を受けております。
3. 当社及び(注)2の子会社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

③ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める解任事由に該当すると認められる場合、監査役全員の同意により会計監査人を解任します。この場合、解任後最初に招集される株主総会において、解任した旨及びその理由を報告します。

上記のほか、会計監査人の適格性、独立性を害するなどの事由の発生により、適正な監査の遂行が困難であると認められる場合、その他会計監査人の変更が相当と認められる場合、監査役会は株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定します。

④ 責任限定契約の内容の概要

当社と会計監査人である有限責任 あずさ監査法人は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、20,000千円又は同法第425条第1項に定める最低責任限度額のいずれか高い額としております。

#### (4) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主への利益還元を経営の重要な課題ととらえておりますが、配当政策については企業体質の強化と将来の事業展開のために内部留保の充実を図るとともに、業績に応じて中間配当及び期末配当として年2回、長期継続的に配当を行うことを基本方針として、株主への利益還元を行ってまいる所存であります。

また、定款に、会社法第459条第1項に基づき、剰余金の配当等を取締役会の決議により行う旨の定めを設けております。

当事業年度の配当につきましては、期末配当として取締役会決議を経て12円を実施いたしました。その結果、年間配当は中間配当15円を加え1株当たり27円となりました。

なお、内部留保資金の使途については、業務体制を強化し競争力を高めるため有効に投資してまいります。

---

本事業報告中の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨て、比率及び1株当たり情報については四捨五入して表示しております。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表

(2020年5月31日現在)

(単位：千円)

| 資産の部            |                  | 負債の部            |                  |
|-----------------|------------------|-----------------|------------------|
| 科目              | 金額               | 科目              | 金額               |
| <b>流動資産</b>     | <b>4,289,615</b> | <b>流動負債</b>     | <b>2,524,329</b> |
| 現金及び預金          | 2,725,761        | 1年内返済予定の長期借入金   | 137,100          |
| 売掛金             | 786,998          | 未払金             | 280,617          |
| 仕掛品             | 439,345          | 未払費用            | 646,760          |
| その他の            | 337,595          | 未払法人税等          | 248,514          |
| 貸倒引当金           | △86              | 前受金             | 869,866          |
|                 |                  | その他の            | 341,470          |
| <b>固定資産</b>     | <b>2,473,225</b> | <b>固定負債</b>     | <b>1,491,614</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>570,366</b>   | 長期借入金           | 1,118,062        |
| 建物              | 257,563          | 退職給付に係る負債       | 64,512           |
| 工具器具備品          | 106,446          | 長期未払金           | 104,313          |
| 土地              | 92,736           | リース債務           | 99,757           |
| その他の            | 113,619          | 債務保証損失引当金       | 67,253           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>859,136</b>   | その他の            | 37,714           |
| ソフトウエルアーン       | 360,690          | <b>負債合計</b>     | <b>4,015,943</b> |
| のれん             | 496,750          |                 |                  |
| その他の            | 1,694            | <b>純資産の部</b>    |                  |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>1,043,723</b> | <b>株主資本</b>     | <b>2,706,319</b> |
| 投資有価証券          | 1,055            | 資本金             | 992,784          |
| 差入保証金           | 481,816          | 資本剰余金           | 42,236           |
| 繰延税金資産          | 405,025          | 利益剰余金           | 1,783,390        |
| その他の            | 155,830          | 自己株式            | △112,091         |
| 貸倒引当金           | △4               | その他の包括利益累計額     | △411             |
|                 |                  | その他有価証券評価差額金    | △411             |
|                 |                  | 非支配株主持分         | 40,988           |
| <b>資産合計</b>     | <b>6,762,841</b> | <b>純資産合計</b>    | <b>2,746,897</b> |
|                 |                  | <b>負債・純資産合計</b> | <b>6,762,841</b> |

# 連結損益計算書

(2019年6月1日から)  
(2020年5月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                           |  |  |         | 金 額        |
|-------------------------------|--|--|---------|------------|
| 売 売 上 原 高 価                   |  |  |         | 14,842,735 |
| 売 売 上 原 高 価                   |  |  |         | 10,777,447 |
| 売 売 上 総 利 益                   |  |  |         | 4,065,287  |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費           |  |  |         | 3,547,765  |
| 営 営 業 利 益                     |  |  |         | 517,522    |
| 営 営 業 外 収 益                   |  |  |         |            |
| 受 取 利 息                       |  |  | 40      |            |
| 保 険 配 当 金                     |  |  | 8,038   |            |
| 受 取 手 数 料                     |  |  | 3,710   |            |
| 保 険 解 約 返 戻 金                 |  |  | 23,507  |            |
| 受 取 保 険 金                     |  |  | 29,331  |            |
| 受 貸 料 収 入                     |  |  | 7,487   |            |
| 受 取 保 証 料 入                   |  |  | 10,329  |            |
| 受 雜 収 入                       |  |  | 8,704   |            |
| 営 営 業 外 費 用                   |  |  |         | 91,148     |
| 支 払 利 息                       |  |  | 9,464   |            |
| 雜 損 損 失                       |  |  | 980     |            |
| 經 常 利 益                       |  |  |         | 10,445     |
| 特 別 利 益                       |  |  |         | 598,225    |
| 固 定 資 産 売 却 益                 |  |  | 519     |            |
| 特 別 損 失                       |  |  |         | 519        |
| 減 損 損 失                       |  |  | 16,521  |            |
| 債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額       |  |  | 67,253  |            |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益         |  |  |         | 83,775     |
| 法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税       |  |  | 303,248 |            |
| 法 人 税 等 調 整 額                 |  |  | △58,902 |            |
| 当 期 純 利 益                     |  |  |         | 244,345    |
| 非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |  |  |         | 270,624    |
| 親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 |  |  |         | 12,397     |
|                               |  |  |         | 258,226    |

## 連結株主資本等変動計算書

(2019年6月1日から)  
(2020年5月31日まで)

(単位：千円)

|                     | 株 主 資 本 |        |           |          |             |
|---------------------|---------|--------|-----------|----------|-------------|
|                     | 資 本 金   | 資本剰余金  | 利益剰余金     | 自己 株 式   | 株 主 資 本 合 計 |
| 当 期 首 残 高           | 992,784 | 42,236 | 1,760,133 | △265,145 | 2,530,008   |
| 当 期 变 動 額           |         |        |           |          |             |
| 剩 余 金 の 配 当         |         |        | △234,969  |          | △234,969    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |         |        | 258,226   |          | 258,226     |
| 自 己 株 式 の 処 分       |         |        |           | 153,054  | 153,054     |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） |         |        |           |          |             |
| 当 期 变 動 額 合 計       | —       | —      | 23,257    | 153,054  | 176,311     |
| 当 期 末 残 高           | 992,784 | 42,236 | 1,783,390 | △112,091 | 2,706,319   |

|                     | その他の包括利益累計額      |                   | 非支配株主<br>持 分 | 純資産合計     |
|---------------------|------------------|-------------------|--------------|-----------|
|                     | その他有価証券<br>評価差額金 | その他の包括<br>利益累計額合計 |              |           |
| 当 期 首 残 高           | △50              | △50               | 31,977       | 2,561,934 |
| 当 期 变 動 額           |                  |                   |              |           |
| 剩 余 金 の 配 当         |                  |                   |              | △234,969  |
| 親会社株主に帰属する当期純利益     |                  |                   |              | 258,226   |
| 自 己 株 式 の 処 分       |                  |                   |              | 153,054   |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △360             | △360              | 9,011        | 8,651     |
| 当 期 变 動 額 合 計       | △360             | △360              | 9,011        | 184,963   |
| 当 期 末 残 高           | △411             | △411              | 40,988       | 2,746,897 |

# 計算書類

## 貸借対照表

(2020年5月31日現在)

(単位：千円)

| 資産の部            |                  | 負債の部            |                  |
|-----------------|------------------|-----------------|------------------|
| 科目              | 金額               | 科目              | 金額               |
| <b>流動資産</b>     | <b>605,310</b>   | <b>流動負債</b>     | <b>243,834</b>   |
| 現金及び預金          | 468,051          | 1年内返済予定の長期借入金   | 137,100          |
| 未収入金            | 5,965            | 未払金             | 84,756           |
| 前払費用            | 34,772           | 未払費用            | 1,440            |
| その他の            | 96,519           | 預り金             | 4,826            |
|                 |                  | その他の            | 15,710           |
| <b>固定資産</b>     | <b>3,798,906</b> | <b>固定負債</b>     | <b>1,195,646</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>13,712</b>    | 長期借入金           | 1,118,062        |
| 工具器備品           | 13,712           | 債務保証損失引当金       | 67,253           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>95,677</b>    | その他の            | 10,329           |
| ソフトウエア          | 95,677           | <b>負債合計</b>     | <b>1,439,480</b> |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>3,689,516</b> | <b>純資産の部</b>    |                  |
| 関係会社株式          | 3,591,534        | <b>株主資本</b>     | <b>2,964,735</b> |
| 繰延税金資産          | 21,391           | <b>資本金</b>      | <b>992,784</b>   |
| その他の            | 76,590           | <b>資本剰余金</b>    | <b>1,394,541</b> |
|                 |                  | 資本準備金           | 26,304           |
|                 |                  | その他資本剰余金        | 1,368,237        |
|                 |                  | <b>利益剰余金</b>    | <b>689,500</b>   |
|                 |                  | 利益準備金           | 142,248          |
|                 |                  | その他利益剰余金        | 547,252          |
|                 |                  | 繰越利益剰余金         | 547,252          |
|                 |                  | <b>自己株式</b>     | <b>△112,091</b>  |
|                 |                  | <b>純資産合計</b>    | <b>2,964,735</b> |
| <b>資産合計</b>     | <b>4,404,216</b> | <b>負債・純資産合計</b> | <b>4,404,216</b> |

## 損 益 計 算 書

(2019年6月1日から)  
(2020年5月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                     |  |  |  | 金 額       |
|-------------------------|--|--|--|-----------|
| 營 業 収 益                 |  |  |  | 1,008,001 |
| 營 業 費 用                 |  |  |  | 585,635   |
| 營 業 利 益                 |  |  |  | 422,365   |
| 營 業 外 収 益               |  |  |  |           |
| 受 取 利 息                 |  |  |  | 912       |
| 受 取 保 証 料               |  |  |  | 10,329    |
| 雜 収 入                   |  |  |  | 728       |
|                         |  |  |  | 11,971    |
| 營 業 外 費 用               |  |  |  |           |
| 支 払 利 息                 |  |  |  | 8,348     |
| 経 常 利 益                 |  |  |  | 425,989   |
| 特 別 損 失                 |  |  |  |           |
| 債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額 |  |  |  | 67,253    |
| 税 引 前 当 期 純 利 益         |  |  |  | 358,735   |
| 法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税 |  |  |  | 991       |
| 法 人 税 等 調 整 額           |  |  |  | △18,330   |
| 当 期 純 利 益               |  |  |  | 376,074   |

## 株主資本等変動計算書

(2019年6月1日から)  
(2020年5月31日まで)

(単位：千円)

|                 | 株 主 資 本 |           |           |           |
|-----------------|---------|-----------|-----------|-----------|
|                 | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |           |           |
|                 |         | 資本準備金     | その他の資本剰余金 | 資本剰余金合計   |
| 当 期 首 残 高       | 992,784 | 26,304    | 1,368,237 | 1,394,541 |
| 当 期 変 動 額       |         |           |           |           |
| 剩 余 金 の 配 当     |         |           |           |           |
| 利 益 準 備 金 の 積 立 |         |           |           |           |
| 当 期 純 利 益       |         |           |           |           |
| 自 己 株 式 の 処 分   |         |           |           |           |
| 当 期 変 動 額 合 計   | —       | —         | —         | —         |
| 当 期 末 残 高       | 992,784 | 26,304    | 1,368,237 | 1,394,541 |

|                 | 株 主 資 本   |                 |               |          | 純資産合計     |  |
|-----------------|-----------|-----------------|---------------|----------|-----------|--|
|                 | 利 益 剰 余 金 |                 |               | 自己株式     |           |  |
|                 | 利 益 準 備 金 | そ の 他 利 益 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 合 計 |          |           |  |
| 当 期 首 残 高       | 118,751   | 429,644         | 548,396       | △265,145 | 2,670,576 |  |
| 当 期 変 動 額       |           |                 |               |          |           |  |
| 剩 余 金 の 配 当     |           | △234,969        | △234,969      |          | △234,969  |  |
| 利 益 準 備 金 の 積 立 | 23,496    | △23,496         | —             |          | —         |  |
| 当 期 純 利 益       |           | 376,074         | 376,074       |          | 376,074   |  |
| 自 己 株 式 の 処 分   |           |                 |               | 153,054  | 153,054   |  |
| 当 期 変 動 額 合 計   | 23,496    | 117,607         | 141,104       | 153,054  | 294,159   |  |
| 当 期 末 残 高       | 142,248   | 547,252         | 689,500       | △112,091 | 2,964,735 |  |

# 監査報告書

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

### 独立監査人の監査報告書

2020年7月29日

E R I ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あづさ監査法人  
東京事務所

|                    |             |   |
|--------------------|-------------|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 金 子 靖 | ㊞ |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 田 原 諭 | ㊞ |

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、E R I ホールディングス株式会社の2019年6月1日から2020年5月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、E R I ホールディングス株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 会計監査人の監査報告書 謄本

## 独立監査人の監査報告書

2020年7月29日

E R I ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あづさ監査法人  
東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 金子 靖印  
指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 田原 諭印

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、E R I ホールディングス株式会社の2019年6月1日から2020年5月31日までの第7期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 監査役会の監査報告書 謄本

## 監 査 報 告 書

当監査役会は、2019年6月1日から2020年5月31日までの第7期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、2019年度（第7期事業年度）監査計画を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査規程に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な子会社において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の役員等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社からなる企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上のことから、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2020年7月31日

|                    |      |
|--------------------|------|
| E R I ホールディングス株式会社 | 監査役会 |
| 常勤監査役 堂 山 俊 介      | 印    |
| 監 査 役 加 藤 茂        | 印    |
| 社外監査役 太 田 裕 士      | 印    |
| 社外監査役 西 村 賢        | 印    |

以上

## 株主総会会場ご案内図

### 都市センターホテル 3階 コスモスホール

東京都千代田区平河町二丁目4番1号 ☎ 03-3265-8211

(※昨年と会場が異なりますので、お間違えのないようご注意ください。)



※ご来場の際は「プリンス通り側」の入口をご利用ください。

※駐車場の用意はいたしておりませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申しあげます。

#### [交通機関のご案内]

東京メトロ「永田町駅」(南北線・半蔵門線・有楽町線) 9a・9b出口より徒歩3分

※半蔵門線・有楽町線から9a・9b出口へは南北線ホーム経由となります。

※9a出口はエスカレーターが設置されています。9b出口は地上まで長い階段があります。

#### 《株主の皆様へ》

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止及び株主の皆様の安全確保のため、極力株主総会当日のご来場をお控えいただき、書面又はインターネットによる議決権の事前行使をお願い申しあげるとともに、株主総会にご来場される株主様におかれましては、マスク着用などの感染対策にご配慮いただきますようお願い申しあげます。
- ・会場内は座席間隔をあけて配置し、例年より座席数を減らしておりますので、満席となりました場合はご入場をお断りする場合があります。また、ご来場の際に検温させていただき、発熱や体調不良が見受けられる場合はご入場をお控えいただく場合があります。予めご了承くださいますようお願い申しあげます。
- ・本年より、ご来場の株主様へのお土産は取り止めさせていただきます。何卒ご理解くださいますようお願い申しあげます。